

第49回（令和3年度） 群馬県保育研究大会 開催要項

主題：すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして

【開催趣旨】

平成27年4月に子ども・子育て支援新制度が施行され、平成28年度には保育所保育指針や、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改定（訂）に関する議論がなされました。

また、改正社会福祉法が施行され、社会福祉法人に対する経営組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上、地域における福祉の先駆的・公益的役割の発揮等も求められています。さらに、平成28年6月の児童福祉法改正によってすべての子どもが権利の主体として位置づけられ、児童虐待や子どもの貧困など、深刻化する児童家庭福祉の諸課題に対して、幅広い支援体制の整備が図られようとしています。

保育・子育て支援関係者は、こうした制度動向や、今後社会福祉法人に求められる責務について意識を深め、保育の社会的な意義・役割をあらためて意識するとともに、養護と教育の実践のもとに、これまで培ってきた保育の営みの大切さを、いま一度広く社会にアピールする必要があります。

今大会は、こうした状況を踏まえ、保育所・認定こども園の社会的意義と役割、教育保育実践などについて議論を深め、その取り組みについて研究を進めることを目的に開催します。

【主催】

群馬県、群馬県社会福祉協議会、群馬県保育協議会

【開催方法】

○式典

感染症拡大の状況を鑑み、中止といたします。

表彰受賞者の方へは、大会冊子及び表彰状を送付いたします。

○基調講演及び分科会

群馬県公式YouTubeチャンネル「tsulunos」において動画配信を行います。

※保育関係者向け限定公開です。

※配信期間は令和4年2月から1ヶ月ほどを予定しています。

※視聴方法等については、公開の際に別途お知らせします。

【参加費】

無料（申込不要）

【基調講演】

講師

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
システムデザイン・マネジメント専攻
教授 前野 隆司（まえの たかし）氏

演題

『ウィズコロナ時代下における幸福学』

【分科会】

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 第1分科会 | 新たな時代の保育実践 ～すべての子どもにむけて～ |
| 第2分科会 | 保育者の資質向上を図る |
| 第3分科会 | 地域の子育て家庭への支援の充実にむけて |
| 第4分科会 | 「食を営む力」の基礎を培う食育の推進 |
| 第5分科会 | 保育の社会化にむけて ～保育の営みをいかに発信するか～ |

分科会テーマ、発表園

- | | |
|-------|---|
| 第1分科会 | 新たな時代の保育実践 ～すべての子どもにむけて～
〈助言・指導〉都丸 千寿子 氏（群馬パース大学福祉専門学校 副校長）
〈発表園〉たけのこ保育園
間野谷保育園
富岡ひばり第二こども園 |
|-------|---|

子ども・子育て支援新制度では、「保育の必要性（の認定）」に基づいて、保育が提供されています。また、学校及び児童福祉施設としての法的位置づけをあわせ持つ新たな幼保連携型認定こども園が創設され、保育が提供されています。

保育所は、保育所保育指針にもとづき、児童福祉施設として、各保育所における創意工夫のもと、保育実践をすすめています。同時に、児童福祉施設ならびに学校である幼保連携型認定こども園では、保育所保育指針を踏まえた「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づき、保育実践が展開されています。

本テーマでは上記保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領のもと、子ども一人ひとりの健やかな育ちを保障し、保育の質を向上していくための手法や、さらに今後の保育をめぐる動きのなかで大切にすべき保育実践の視点について研究を深めます。

第2分科会 保育者の資質向上を図る

〈助言・指導〉今井 邦枝氏（高崎健康福祉大学 教授）

〈発表園〉大泉町立北保育園

榛東北部保育園

エドゥカーレ城之内

保育所・認定こども園等における今日的状況として、職員の就業形態や雇用形態の多様化の進展があげられます。そのため、職員間の連携、チームワークの形成や、職場全体としてのスキルアップに一層留意する必要があります。

また、「保育士等の処遇改善」と関連して、保育士の技能・経験に着目したキャリアアップの仕組みが示され、さらなる人材育成への取り組みが求められます。

本テーマでは、より多くの保育ニーズに応えるため、内外の研修受講や情報共有のあり方、保育者の自己評価など、職員の資質向上にむけた効果的・具体的な実践とともに、今後、保育者自身にもとめられる資質向上のあり方について研究を深めます。

第3分科会 地域の子育て家庭への支援の充実にむけて

〈助言・指導〉吉澤 幸 氏（群馬医療福祉大学 助教）

〈発表園〉館林市立成島保育園・館林市立渡瀬保育園

上細井保育園

慈光こども園

平成30年施行に向け、平成27年から保育所保育指針の改定に関する議論が進められました。保育所保育指針においては、保育所の役割として、保護者に対する支援と地域における子育て支援が明確に位置づけられています。また、幼保連携型認定こども園は、地域の子どもやその保護者が相互の交流を行う場所を開設したり、保護者からの相談に応じたり、必要な情報の提供や助言、その他必要な援助を行うことが義務づけられています。

また、地域のつながりが弱まるなか、子育てに孤立感や孤独感を深めている家庭へのアプローチが、とくに重要です。

本テーマでは、地域子育て支援における保育所・認定こども園等の機能や、保育者に求められる知識や技術を、いかに地域支援に活かしていくかなど、地域の子育て家庭に対する支援のあり方について、研究を深めます。

第4分科会 「食を営む力」の基礎を培う食育の推進

〈助言・指導〉 剣持 佐智子 氏（群馬パース大学福祉専門学校 専任講師）

〈発表園〉 葎川こども園

宝塔保育園

あかねこども園

乳幼児期の食育の推進は、「食べる」ことや「いのち」への関心、さらに適切な食習慣の形成において大変重要です。また、食に関する家庭との相互理解、さらには地域子育て家庭にむけた食育実践や地域の食文化継承などの視点から、保育所・認定こども園等のみならず、家庭や地域との連携のもとで実践を進めることが必要です。

一方、保育現場では、自園調理の意義や有用性の確立ならびに、食物アレルギーをもつ子どもへの対応等も大きな課題となっています。

本テーマでは、保育所・認定こども園等での食事を通して、「食を営む力」の基礎を培うことができるよう、保護者、家庭や地域と連携した食育の実践、食物アレルギーへの対応、食をとおした保育実践のあり方などについて研究を深めます。

第5分科会 保育の社会化にむけて～保育の営みをいかに社会に発信するか～

〈助言・指導〉 塚越 亜希子 氏（群馬医療福祉大学 講師）

〈発表園〉 広沢保育園

伊勢崎市第三保育所・伊勢崎市境いよく保育所

高崎市立吉井保育所・高崎市立倉賀野保育所

少子化や核家族化がすすむなか、社会における人と人、とくに子どもとおとながつながる場面が少なくなりつつあり、社会における子ども・子育てへの関心低下につながっています。こうしたなか、子育て家庭や保育関係者にかぎらず、すべての人が子どもや子育てに関心をもつ取り組みが、安心して子どもを産み育てることができる社会づくりにむけて大切です。

本テーマでは、保育所・認定こども園等の地域にむけた諸活動の展開により、広く地域や国民に対して子ども・子育てへの関心や保育の営みの重要性を発信し、地域全体で子育てを考えていく取り組みについて、研究を深めます。